

環境 01：環境と健康総論

日時：4月10日（木） 2時限

担当者：太田 晶子(社会医学)

内容：

環境と健康総論

1. わが国の衛生を取り巻く社会状況について説明できる。
2. 社会と環境・疾病の概念について説明できる。
3. 環境の変化とヒトの健康影響について説明できる。
4. 環境問題（公害・環境汚染）と環境保全の重要性について説明できる。
5. 環境中の有害物質が人の健康に与える影響について説明できる。
6. 世界の保健・医療問題と国際保健・医療協力について説明できる。

キーワード：

ユニット：

環境保健、環境と適応、地球環境の変化と健康影響、環境汚染の発生要因と健康影響、国民栄養と食品保健、産業保健、産業中毒と職業性疾患、上水道と下水道、公害の健康影響、公害対策、環境の健康影響、気候変動、地球温暖化、国際保健、多国間協力、二国間協力、世界の保健問題

★コアカリ：

コアカリ項目番号：A-7-1)、A-7-2)、B-1-5)、B-1-6)、B-1-9)、B-4-1)、C-5-4)

コアカリキーワード：地域医療への貢献、災害医療、国際医療への貢献、生活習慣とそのリスク、社会と環境と健康、環境保健、国際保健、仕事におけるストレスとその健康影響、社会的決定要因とアドボカシー

国試出題基準：

環境と適応、生体環境系、社会と健康、公害と環境保全、環境化学物質、大気汚染、水質汚濁、健康・疾病・障害の概念と社会環境、国民栄養、環境保健、中毒、放射線傷害、ストレス関連障害、食中毒、病害動物による疾患、産業中毒とその他の職業性疾患、物理的原因・生活環境因子による障害、生活習慣と疾患、生活環境、熱中症、寒冷による障害、食事摂取基準、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防、疾病の概念と社会環境、社会構造と疾病・健康、産業保健、食品保健、国際保健、国際協力、

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 環境保健 p408-413 国際保健 p434-440

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p30-46、p288-318、p319-330、p331-368 New 予防医学・公衆衛生学 p1-37
労働衛生のしおり p1-23

予習：

ヒトを取り巻く環境や国際社会における健康課題について教科書を読んでくる。(30 分)

復習：

ヒトを取り巻く環境や国際社会における健康課題について理解を深める。(20 分)

環境 02：環境衛生と健康 1：気候変動と医療、環境基準と環境影響評価

日時：4月17日（木） 1時限

担当者：宮崎 利明(社会医学)

内容：

気候変動と医療、環境基準と環境影響評価

1. 気候変動と医療との関係性を理解し、患者が抱える健康に関する課題と気候変動の関係を想像できる。
2. 環境基準の評価とその対策について説明できる。
3. 環境基準、排水・排出規制について説明できる。
4. 環境アセスメント、環境モニタリングについて説明できる。

5. 環境化学物質のライフサイクルと包括的管理体制について説明できる。

6. 大気汚染に関わる環境基準とその影響を理解する。

コアカリ項目番号：B-1-6

国試出題基準：必須の基本的事項 I-6、II-12、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

有害物質の吸収・排泄、大気汚染物質、水質汚濁物質、水質汚濁に関わる指標、水道水質基準、健康リスク評価

★コアカリ：

環境基準と環境影響評価、公害と環境保全

国試出題基準：

地球環境の変化と健康影響、環境汚染の評価と対策、環境基本法、環境汚染の概念、環境汚染の指標、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、水道法、下水道法、生活環境因子による障害、生活環境、環境基準、排出規制、環境モニタリング、環境影響評価（環境アセスメント）

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025、環境保健 p414-423

参考書：

◆ 国民衛生の動向、p331-340 New 予防医学・公衆衛生学 p236-240

予習：

大気、水および上下水道の環境基準について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

大気、水および上下水道の環境基準について理解を深める。(20 分)

環境 03：環境衛生と健康 2：生活環境衛生

日時：4月22日（火） 1時限

担当者：宮崎 孝(社会医学)

内容：

生活環境衛生

1. 化学物質の健康影響・内分泌かく乱化学物質・ダイオキシン類について説明できる。
2. 廃棄物処理の産業廃棄物の処理・廃棄物の分類について説明できる。
3. 生活環境の管理・室内の空気環境・シックハウス症候群・化学物質過敏症について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6

国試出題基準：必須の基本的事項 II-12、医学各論 I-1、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

環境と適応、環境汚染の発生要因と健康影響、化学物質排出把握管理促進法、内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類、廃棄物・リサイクル関連法、廃棄物の処理（マニフェストシステム）、感染性廃棄物、シックハウス症候群、

★コアカリ：

生活環境因子による障害、環境保健、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全

国試出題基準：

環境と適応、環境汚染の発生要因と健康影響、環境汚染の概念（エピソード）、廃棄物処理法、一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物、医療廃棄物、リサイクル、住居・衣服環境と健康、屋内環境の管理、建築物衛生、衣服の機能と健康、建築物衛生法、化学物質過敏症、シックハウス症候群

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 環境保健 p423-433

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p311-315 New 予防医学・公衆衛生学 p225-233

予習：

水質基準、水質汚染物質、塩素耐性病原微生物について教科書を読み学ぶ。(15 分)

復習：

水質基準、水質汚染物質、塩素耐性病原微生物について理解を深める。(15 分)

環境 04：環境衛生と健康 3：大気汚染・水質汚濁

日時：4月24日（木） 1 時限

担当者：宮崎 利明(社会医学)

内容：

大気汚染に関わる環境基準とその影響を理解する。

1. 環境基本法について説明できる。
2. 大気汚染の指標について説明できる。
3. 光化学スモッグ、PM2.5 について説明できる。

水質汚濁に関わる環境基準とその影響を理解する。

1. 水質汚濁の原因について説明できる。
2. 水質に関する基準を説明できる。
3. 健康に関する水質基準を説明できる。

キーワード：

ユニット：

環境の概念、生態圏と生物濃縮、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、砂漠化、環境汚染の概念、大気汚染、水質汚濁、浄水法と消毒、水系感染、汚染処理、クリプトスポリジウム症

★コアカリ：

B-1-6) 社会・環境と健康、環境諸因子、個人の健康と社会生活、健康の社会的決定要因、環境と適応、公害と環境保全

国試出題基準：

環境と適応、環境汚染の発生要因と健康影響、公害の健康被害と対策、公害の概念、主な公害のエピソード、公害健康被害補償制度、環境汚染の発生要因と健康影響、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、砂漠化、環境汚染の概念（エピソード）、水質基準、浄水法と消毒、水系感染

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 環境保健 環境基本法 p414-422

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p288-291 p331-369

予習：

教科書を読み学ぶ。(15 分)

復習：

教科書を読み、理解を深める。(10 分)

環境 05：健康危機管理：自然災害と健康影響

日時：4月24日（木） 5 時限

担当者：坂田 清美(社会医学)

内容：

自然災害と健康影響、気候変動と医療

1. 健康危機の概念と種類、それらの対応（リスクコミュニケーションを含む）について理解している。

2. 健康危機管理に関連する基本的な制度や法律を理解している。
3. 気候変動と医療との関係性を理解している。
4. 大規模自然災害、自然災害時の救護活動の基本について説明できる。
5. 災害の種類とその健康影響について説明できる。
6. 災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。
7. 自然災害が起きた際に必要とされる医師の役割と健康課題について理解している。
8. 災害時の医療課題とその対策について説明できる。

コアカリ項目番号：A-7-1)、B-1-7)

国試出題基準：医学総論 I-6、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

東日本大震災、災害救援チーム、気候変動と医療

★コアカリ：

地域における救急医療・災害医療、災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム (DMAT)、災害派遣精神医療チーム (DPAT)、日本医師会災害医療チーム (JMAT)、災害拠点病院、トリアージ

国試出題基準：

環境と適応、災害医療、大規模災害（地震、津波、多数傷病者事故、テロ）、救護活動の基本（指揮と統制、安全、情報伝達、評価、トリアージ、治療、搬送）地球環境の変化、自然災害、災害時保健医療、災害救護班、災害派遣医療チーム (DMAT)、災害拠点病院、地域医療搬送、広域医療搬送

教科書：

◆ 公衆衛生が見える 2024-2025 医療法と医療体制 災害医療 p146-149

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p30-31、p129、p194-195、p198、p366 New 予防医学・公衆衛生学 p378-381、p384-388

予習：

自然災害によるヒトの健康影響とその対策・対処法について読み学ぶ。(15 分)

復習：

自然災害によるヒトの健康影響とその対策・対処法について理解を深める。(15 分)

環境 06：グローバルヘルスの役割や医療体制

日時：5月1日（木） 5時限

担当者：町田 宗仁(社会医学)

内容：

国際保健

1. 国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。
2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意義を理解し、世界各国の医療制度が抱える問題を例示できる。
3. 保健関連の国連開発目標や国際機関・国際協力に関わる組織・団体について概要を説明できる。

コアカリ項目番号：A-7-2)、B-1-9)、F-1-3)

国試出題基準：医学総論 I-7

キーワード：

★コアカリ：

国際社会における医療の現状と課題、異なる言語、地域医療の中の国際化、保健医療の国際的課題、国際社会への貢献、国際協力の仕組み、世界の保健・医療問題、国際保健・医療協力、WHO、JICA、SDGs、社会的決定要因とアドボカシー

国試出題基準：

世界の保健医療問題、持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (SDGs)、ユニバーサルヘルスカバレッジ (UHC)、母子の健康状況、感染症、エビデミック (流行)、パンデミック、非感染性疾患、国際連合 (UN)、世界保健機構 (WHO)、国際労働機関 (ILO)、国連合同エイズ計画 (UNAIDS)、国際協力機構 (JICA)、政府開発援助 (ODA)、二国間協力、多国間協力、非政府機関 (NGO)

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 国際保健 p434-440

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p38-43

予習：

国際保健について読み学ぶ。(15 分)

復習：

国際保健について理解を深める。(20 分)

環境 07：食品保健 1：国民栄養の現状と課題

日時：5月9日(金) 4時限

担当者：高橋 美保子(社会医学)

内容：

国民栄養

1. 栄養やエネルギー代謝に関する知識や統計情報をもとに個人の栄養状態を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で食生活の支援を計画できる。
2. 国民健康栄養調査について説明できる。
3. 食事摂取基準について説明できる。
4. 国民栄養の現状とその対策について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-8)、C-2-5)、F-2-11)

国試出題基準：医学総論 I-5、II-9

キーワード：

ユニット：

生活習慣病、健康日本 21 (第2次)、健康増進法、国民健康栄養調査、食事摂取基準、体格 (BMI)、推定エネルギー必要量、推定平均必要量、推奨量、目安量、目標量、耐容上限量、食生活指針、食事バランスガイド

★コアカリ：

エネルギー代謝 (エネルギーの定義、食品中のエネルギー量、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)、食行動、食事摂取基準、食事バランス

国試出題基準：

健康増進法、食事調査、国民健康・栄養調査、食事摂取基準、食生活指針、食事バランスガイド、栄養教育・指導

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 栄養 p332-339

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p92-100

予習：

国民健康・栄養調査について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

国民健康・栄養調査について理解を深める。(20 分)

環境 08：食品保健 2：食品保健・食中毒

日時：5月2日（金） 1時限

担当者：宮崎 孝(社会医学)

内容：

食品安全・食中毒・病害動物による疾患

1. 食物に起因する病気について説明できる。
2. 食品の安全性の確保に対する対策について説明できる。
3. 保健機能食品、特別用途食品について説明できる。
4. 食中毒の原因、症状、予防対策について説明できる。
5. 食品衛生行政について説明できる。
6. 旅行者下痢症について説明できる。
7. 病害動物および昆虫による疾患を説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、E-5-3)

国試出題基準：必須の基本的事項 II-9、医学各論 XIII-1

キーワード：

ユニット：

家庭用品による誤嚥・誤飲、リスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーション、リスク分析、ハザード手法（HACCP）、ポジティブリスト制度、食品衛生法、医師の届け出義務、食品衛生行政、フグ、キノコ

★コアカリ：

社会・環境と健康、環境諸因子、個人の健康と社会生活、健康の社会的決定要因、食中毒の病因、食中毒の予防法

国試出題基準：

食品の安全性と機能性、食中毒、細菌性食中毒、食品添加物、食品中の汚染物質、一日の摂取許容量（ADI）、遺伝子組み換え食品、保健機能食品、特別用途食品、健康食品、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒、化学性食中毒、自然毒食中毒

教科書：

- ◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 食品保健 p314-331

参考書：

- ◆ 国民衛生の動向 p293-309 New 予防医学・公衆衛生学 p300-307、p388-390

予習：

食品保健と食中毒について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

食品保健と食中毒について理解を深める。(20 分)

環境 09：産業保健概論 1：産業保健の基本

日時：5月28日（水） 4時限

担当者：林 剛司(社会医学)

内容：

産業保健総論

1. 産業保健の意義と目的について説明できる。
2. 労働基準法・労働安全衛生法について説明できる。
3. 労働安全衛生法に規定される産業保健活動について説明できる。
4. 産業医の役割について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、B-1-8)

国試出題基準：医学総論 I-5、II-11

キーワード：

ユニット：

労働基準法、労働安全衛生法、女性労働者の就労制限、労働衛生行政

★コアカリ：

労働基準法、労働関係法規、産業保健

国試出題基準：

産業保健の仕組み、労働者の安全衛生管理、労働者の健康増進、労働災害の補償、産業医と労働安全衛生管理、各ライフステージの健康問題、産業保健、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、労働者の安全衛生管理 ・ユニットのキーワード：女性労働者の就労制限、労働衛生行政、産業中毒とその他の職業性疾患

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p350-356

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p319-330 New 予防医学・公衆衛生学 p245-247

予習：

労働基準法、労働安全衛生法、労働衛生関連法規について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

労働基準法、労働安全衛生法、労働衛生関連法規について理解を深める。(20 分)

環境 10：産業保健概論 2：産業保健の関係法規

日時：5月30日（金） 3時限

担当者：亀井 美登里(社会医学)

内容：

産業保健の関係法規

1. 労働基準法について説明できる。
2. 労働安全衛生法について説明できる。
3. 労働者災害補償保険法について説明できる。
4. じん肺法について説明できる。
5. 作業環境測定法について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)

国試出題基準：医学総論 II-11

キーワード：

ユニット：

産業保健の仕組み、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、じん肺法、作業環境測定法、労働災害、都道府県労働局、労働基準監督署、労働災害統計の現状と動向、産業医と労働安全衛生管理、労働安全衛生マネジメントシステム、産業保健総合支援センター、地域産業保健センター、健康診断と事後措置、労働衛生の5管理

★コアカリ：

各ライフステージに応じた健康管理、生活習慣改善、仕事と健康、産業保健

国試出題基準：

産業保健、産業保健の仕組み、労働者の安全衛生管理、労働者の健康増進、労働災害の補償、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、じん肺法、正規雇用、非正規雇用、高齢者労働

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p350-361

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p319-323 New 予防医学・公衆衛生 p247-249

予習：

産業保健関連法規について教科書と参考書を読み学ぶ。(15 分)

復習：

産業保健関連法規について理解を深める。(15 分)

環境 11：産業保健概論 3：作業環境管理・放射線障害

日時：6月2日（月） 4 時限

担当者：山本 修一郎(社会医学)

内容：

作業管理・作業環境管理・健康管理

1. 作業環境管理について説明できる。
2. 管理濃度と許容濃度について説明できる。
3. 曝露評価と有害性評価について説明できる。
4. 作業管理について説明できる。
5. 健康管理の一般健康診断と特殊健康診断について説明できる。
6. 放射線障害・電離放射線の健康影響について説明できる。
7. 低線量 CT を用いた肺がんの健康診断について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-5)、B-1-6)、B-1-8)

国試出題基準：医学総論 II-11

キーワード：

ユニット：

作業環境管理、管理濃度、許容濃度、作業管理、作業環境管理、健康管理、放射線障害、電離放射線

★コアカリ：

各ライフステージに応じた健康管理、仕事と健康、産業保健

国試出題基準：

作業管理、作業環境管理、電離放射線、電離放射線障害、電離放射線の健康影響

教科書：

- ◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p354-369、p384-387

参考書：

- ◆ 国民衛生の動向 p319-324、p327-329

予習：

産業医の職場における健康管理の基本について教科書と参考書を読み学ぶ。(15 分)

復習：

産業医の職場における健康管理の基本について理解を深める。(15 分)

環境 12：産業保健概論 4：健康保持増進政策（THP）

日時：6月2日（月） 5 時限

担当者：山本 修一郎(社会医学)

内容：

産業医と労働安全衛生管理

1. 産業医の職務・選任基準について説明できる。
2. 労働災害統計について説明できる。
3. 労働災害の現状について説明できる。
4. 業務上疾病の現状について説明できる。
5. 健康保持増進政策（THP）について説明できる。
6. 治療と仕事の両立支援を巡る状況について説明できる。

7. 治療と仕事の両立支援を行うにあたっての留意事項について説明できる。

8. 治療と仕事の両立支援を行うにあたっての環境整備について説明できる。

コアカリ項目番号：S0-01-04-01、S0-01-04-02

国試出題基準：医学総論 II-11

キーワード：

ユニット：

産業医の要件、産業医の職・選任基準、労働者の健康管理体制、作業環境管理、作業管理、健康管理、健康保持増進政策（運動・保健指導・メンタルヘルスケア・栄養指導）、健康教育

★コアカリ：

仕事と健康

国試出題基準：

労働災害、健康保持増進対策、労働衛生マネジメントシステム、トータルヘルスプロモーション（THP）

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p354-373

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p319-324、労働衛生のしおり（令和2年）p7-23、p181-187

予習：

労働災害の予防と職場における健康管理・健康増進の基本について教科書と参考書を読み学ぶ。（10 分）

復習：

労働災害の予防と職場における健康管理・健康増進の基本について理解を深める。（15 分）

環境 13：産業保健概論 5：職場の健康管理・健康確保対策

日時：6月3日（火） 2時限

担当者：宮崎 孝（社会医学）

内容：

職場の健康管理、健康確保対策、粉塵による障害と対策

1. 職場の健康管理、定期健康診断・特殊健康診断について説明できる。
2. じん肺法とじん肺の原因と種類について説明できる。
3. じん肺管理区分と事後措置について説明できる。
4. 石綿（アスベスト）の歴史と健康影響について説明できる。
5. 石綿健康被害対策について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、D-6-4)

国試出題基準：医学総論 I-5、医学各論 IV-4、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

健康管理、定期健康診断、特殊健康診断、健康診断の記録の保存、健康診断の事後措置、職業性疾患、粉塵による障害（じん肺）、粉塵障害防止対策、じん肺管理区分、クリソタイル、クロシドライト、アモサイト

★コアカリ：

仕事と健康、じん肺症、石綿肺、胸膜中皮腫の病因・診断

国試出題基準：

産業保健の仕組み、労働者の安全衛生管理、労働者の健康増進、健康診断と事後措置、じん肺法、珪肺、石綿肺、石綿肺、胸膜中皮腫、胸膜プラーク

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p374-378

参考書：

- ◆ 国民衛生の動向 p325-327、p327、p367、労働衛生のしおり p20、p31-32、p105-132

予習：

じん肺の原因とその対策について読み学ぶ。(20 分)

復習：

じん肺の原因とその対策について理解を深める。(20 分)

環境 14：産業環境中毒 1：騒音・振動・暑熱による障害

日時：6月9日(月) 3時限

担当者：大野 洋一(社会医学)

内容：

物理的因子の健康影響

1. 電離放射線傷害について説明できる。
2. 低温・高温環境における健康影響について説明できる。
3. 騒音による健康影響について説明できる。
4. 騒音性難聴の評価法・対策について説明できる。
5. 振動による健康影響について説明できる。

コアカリ項目番号：E-5-3)、E-6-1)、E-6-2)、E-6-3)、E-6-4)

国試出題基準：医学総論 II-12、V-3、V-9、IX-10、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

低温の健康影響、騒音の生理・心理的影響、音響外傷、聴覚影響、騒音の環境評価と対策、低周波空気振動、振動障害(全身振動、局所振動、低周波空気振動)、暑さ指数(WBGT)

★コアカリ：

物理的原因・生活環境因子による障害、放射線、電磁波、放射線の種類と放射能、放射線の性質・定量法・単位、内部被ばくと外部被曝、放射線の及び電磁波の人体への影響(急性影響と晩発影響)、放射線感受性、放射線の遺伝子・細胞への影響・細胞死の機序、局所的・全身的影響、放射線による発がん、原子力災害、低温・高温環境による疾患、熱中症、寒冷による障害、偶発性低体温、凍傷、振動障害、騒音性難聴、動揺病、手腕振動障害、

国試出題基準：

物理的原因・生活環境因子による障害、低温・高温環境による障害、騒音障害、振動による障害、電離放射線傷害、低温・高温環境による疾患、熱中症、寒冷による障害、偶発性低体温、凍傷、振動障害、騒音性難聴、動揺病、手腕振動障害、

教科書：

- ◆ 公衆衛生が見える 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p381-387

参考書：

- ◆ 国民衛生の動向、p325、p366 New 予防医学・公衆衛生学 p287-289

予習：

物理的影響の放射線、高・低温、騒音および振動の健康影響について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

物理的影響の放射線、高・低温、騒音および振動の健康影響について理解を深める。(20 分)

環境 15：産業環境中毒 2：高気圧環境・高圧酸素療法

日時：6月19日(木) 5時限

担当者：望月 徹(社会医学)

内容：

職業性疾患、高気圧環境下の健康管理

1. 気圧による障害とその対策をについて説明できる。
2. 高気圧環境に伴う健康障害とその対策について説明できる。
3. 高圧酸素療法とその対象疾患について説明できる。

コアカリ項目番号：E-5-3)

国試出題基準：医学総論 IX-10、IX-12、医学各論 XIII-5

キーワード：

ユニット：

酸素中毒、窒素酔い、スクイーズ、肺の庄外傷、高圧酸素療法、ダイビング、潜函作業、無菌性骨壊死

★コアカリ：

気圧による障害

国試出題基準：

産業中毒とその他の職業性疾患、物理的原因・生活環境因子による障害、気圧による障害、減圧症、酸素欠乏症、高山病

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p379-381

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p327-328 New 予防医学・公衆衛生学 p290

予習：

潜函病、高・低気圧障害と高圧酸素療法について教科書を読み学ぶ。(10 分)

復習：

潜函病、高・低気圧障害と高圧酸素療法について理解を深める。(10 分)

環境 16：産業環境中毒 3：酸欠・金属・有機溶剤中毒の現状と対策

日時：6月20日（金） 1時限

担当者：宮崎 孝(社会医学)

内容：

職業性疾患、酸素欠乏症、金属・化学物質中毒

1. 酸素欠乏について説明できる。
2. 金属・有機溶剤中毒とその対策について説明できる。
3. 特定化学物質中毒とその対策について説明できる。

コアカリ項目番号：A-6-1)、B-1-6、C-4-6)、E-5-3)

国試出題基準：医学総論 I-1、I-5、II-12、医学各論 XIII-4

キーワード：

ユニット：

職業性疾患、職場の酸素欠乏環境と事故、職場の有機溶剤中毒、特定化学物質による中毒

★コアカリ：

労働災害、酸素欠乏症、金属中毒、有機溶剤中毒、化学物質中毒

国試出題基準：

産業中毒とその他の職業性疾患、産業中毒、ガス中毒、酸素欠乏症、金属中毒、有機溶剤中毒、化学物質中毒、農薬中毒

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 p379、p396-401

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p326-327 New 予防医学・公衆衛生学 p256-272、労働衛生のしおり(令和2年) p145

予習：

酸素欠乏症、有機溶剤・化学物質中毒について教科書を読み学ぶ。(15 分)

復習：

酸素欠乏症、有機溶剤・化学物質中毒について理解を深める。(15 分)

環境 17：産業精神保健：産業精神保健の基本・産業精神保健活動

日時：6月24日（火） 5時限

担当者：森田 哲也(社会医学)

内容：

1. 産業精神保健の基本問題について説明できる。
2. 産業精神保健の概念と枠組みについて説明できる。
3. 産業精神保健の小史について説明できる。
4. メンタルヘルス不調に関する労災認定と事業者責任について説明できる。
5. 職業性ストレスおよびメンタルヘルスに関する理論・モデル・概念について説明できる。
6. 産業精神保健活動における面接・相談と主治医との連携について説明できる。
7. 産業精神保健の実際・実践について説明できる。
8. 職場復帰・職場再適応の支援について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、C-4-6)、E-5-3)

国試出題基準：必須の基本的事項 17-D、医学総論 II-11、医学総論 V-1

キーワード：

ユニット：

産業精神保健、ストレスチェック、過重労働対策、職業性ストレスによる障害、脳血管疾患、虚血性心疾患、自殺、適応障害、心身症、休養・心の健康、睡眠の質、不眠、ストレス対策、自殺の予防、労働災害、業務上疾病の発生状況、メンタルヘルス対策、心理社会的要因、自律神経内分泌機能の変化、感情と行動の変化、ストレス関連の誘発と症状増悪

★コアカリ：

ライフステージの健康問題（産業保健）

国試出題基準：

産業医と労働安全衛生管理、労働安全衛生マネジメントシステム、過重労働対策、職業性ストレスによる障害、脳血管疾患、虚血性心疾患、自殺、適応障害、心身症、休養・心の健康、睡眠の質、不眠、ストレス対策、自殺の予防、労働災害、業務上疾病の発生状況、メンタルヘルス対策、ストレス、心理社会的要因、自律神経内分泌機能の変化、感情と行動の変化、ストレス関連の誘発と症状増悪

教科書：

◆ 公衆衛生がみえる 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p368-373

参考書：

◆ 国民衛生の動向、p321-322、p328-330 New 予防医学・公衆衛生学 p252-256、労働衛生のしおり p22-26、p50-103、要説 産業精神保健

予習：

労働者の健康管理とメンタルヘルスについて教科書を読んでくる。(20 分)

復習：

労働者の健康管理とメンタルヘルスについて理解を深める。(20 分)

環境 18：産業中毒 1：産業中毒

日時：6月26日（木） 3時限

担当者：角田 正史(社会医学)

内容：

産業中毒

1. 金属中毒とその対策について説明できる。
2. ガス中毒とその対策について説明できる。
3. 有機化合物中毒とその対策について説明できる。
4. 化学物質中毒とその対策について説明できる。
5. 農薬中毒とその対策について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、 C-4-6)、 E-5-3)

国試出題基準：医学総論 II-11、医学総論 V-9、医学各論 XIII-4

キーワード：

ユニット：

有害物質の形態、有害物質の侵入経路、金属中毒、ガス中毒、有機溶剤中毒、化学物質中毒、農薬中毒、職場の化学物質、鉛、ヒ素、マンガン、クロム、ジクロロプロパン、ジクロロメタン、オルトトルイジン、ベンゼン、農薬

★コアカリ：

仕事と健康、各ライフステージの健康問題（産業保健）

国試出題基準：

産業中毒とその他の職業性疾患、産業中毒、金属中毒、ガス中毒、有機溶剤中毒、化学物質中毒、農薬中毒、業務上疾病の発生状況、中毒の発生要因、毒物の吸収・分布・代謝・排泄、中毒量、致死量、LD50、急性中毒、農薬中毒（有機リン剤、有機塩素系）

教科書：

- ◆ 公衆衛生が見える 2024-2025、保健と福祉 産業保健 p390-407

参考書：

- ◆ 国民衛生の動向、p325-329 New 予防医学・公衆衛生学 p256-281

予習：

職業がんについて教科書を読み学ぶ。（20 分）

復習：

職業がんの原因物質と発生部位、その現状とその対策について理解を深める。（20 分）

環境 19：産業中毒 2：職業性疾患

日時：6 月 26 日（木） 4 時限

担当者：角田 正史(社会医学)

内容：

作業様態による障害と職業がん

1. 作業様態による障害について説明できる。
2. 職業がんについて説明できる。
3. 職場の発癌物質について説明できる。
4. 職場の発癌性物質対策について説明できる。
5. 職業がんの原因物質と病態について説明できる。

コアカリ項目番号：B-1-6)、 C-4-6)、 D-6-4)、 E-5-3)

国試出題基準：医学総論 II-11、医学総論 V-6、V-9、医学各論 XIII-4

キーワード：

ユニット：

業務上疾病の発生状況、職場の発癌物質、膀胱癌、肺がん、皮膚癌、ヒ素、水銀、鉛、クロム、オルトトルイジン

★コアカリ：

仕事と健康、各ライフステージの健康問題、がんの原因や遺伝子変化

国試出題基準：

産業中毒とその他の職業性疾患、金属中毒、ガス中毒、有機溶剤中毒、化学物質中毒、農薬中毒、有機林材、有機塩素系、作業様態による障害、職業性腰痛、頸肩腕症候群、VDT 作業による障害、その他の職業性疾患、発癌因子、がんと遺伝的要因・外的要因、発がん性、生殖毒性、職業がん、作業様態による障害、職業がん、特定化学物質

教科書：

◆ 公衆衛生が見える 2024-2025 保健と福祉 産業保健 p374-378

参考書：

◆ 国民衛生の動向 p324-327 New 予防医学・公衆衛生学 p256-281

予習：

職業がんの原因物質と発生部位、その現状と対策について教科書を読み学ぶ。(20 分)

復習：

職業がんの原因物質と発生部位、その現状と対策について理解を深める。(20 分)

環境 20：産業中毒 3：化学物質の健康影響と管理

日時：6 月 26 日（木） 5 時限

担当者：角田 正史(社会医学)

内容：

1. 化学物質の健康影響について説明できる。
2. 特定化学物質の分類を説明できる。
3. 特定化学物質障害予防規則を説明できる。
4. 有機溶剤中毒を説明できる。

コアカリ項目番号：S0-01-04 - 03、S0-01-04-04

国試出題基準：医学総論 予防と健康管理・増進 C 産業医と労働衛生管理、医学各論 産業中毒とその他の職業性疾患 A 産業中毒

キーワード：

ユニット：

有機溶剤中毒、化学物質中毒、特定化学物質、特定化学物質障害予防規則

★コアカリ：

産業保健・環境保健

国試出題基準：

有機溶剤中毒、化学物質中毒

教科書：

◆ 公衆衛生が見える 2024-2025 p390-407

参考書：

◆ 国民衛生の動向 国民衛生の動向 p306-308 p346-351

予習：

有機溶剤中毒、化学物質中毒、特定化学物質、特定化学物質障害予防規則について教科書を読みを予習する。(10 分)

復習：

有機溶剤中毒、化学物質中毒、特定化学物質、特定化学物質障害予防規則について理解を深める。(20 分)